

## 横浜市強靱化地域計画と横浜市防災計画の違いについて

横浜市はこれまで「横浜市防災計画」に基づき、防災・減災に取り組んできました。特に地震の対策をとりまとめた震災対策編は、地震による被害の発生を未然に防止又は最小限に止めるための「予防」策や、発災後の「復旧・復興」の体制等を定めた災害対応の要となる計画です。

一方、横浜市強靱化地域計画は、国が進める国土強靱化の考え方に基づき、横浜市をさらに強靱な都市とするため、公共施設の保全・更新や、地域における□守り活動の支援など、強靱化につながる平時からのハードとソフトの取組を幅広く位置づけた、強靱な都市づくりの方向性を示す計画です。

### 【計画の主な違いについて】

	横浜市強靱化地域計画	横浜市防災計画
特徴	横浜の強靱な都市とするための、平時からの取組を幅広く位置づけた、 <u>都市づくりの方向性を示す計画</u>	災害予防等も含めているが、主に発災後の組織体制や関係機関との役割分担、経過時間ごとの取組などの <u>対処策を取りまとめた計画</u>  【計画の種類】 ・震災対策編（地震） ・風水害対策編（大雨等） ・都市災害対策編（事故等）
対象のリスク	地震、地震火災、局地的な大雨等の自然災害全般が対象	・地震 ・風水害 ・火災、爆発、事故等の都市災害
根拠法	強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法	災害対策基本法